

## ニッセイ インターネットアンケート ～「2019年の抱負と期待」に関する調査結果について～

日本生命保険相互会社(社長:清水博)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューのひとつとして、ホームページ(<http://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「2019年の抱負と期待」に関するアンケート調査を実施いたしました。

### 《調査概要》

- 調査期間：2018年11月1日(木)～11月12日(月)
- 調査方法：インターネットアンケート(「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー)
- 回答者数：6,709名(男性:3,571名、女性:3,138名)

<年代別回答者数>

[名、%]

年代							合計
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
男性	232	535	933	1,036	583	252	3,571
女性	258	568	762	837	506	207	3,138
合計	490	1,103	1,695	1,873	1,089	459	6,709
占率	7.3	16.4	25.3	27.9	16.2	6.8	100.0

### 《調査結果のポイント》

#### ポイント①

質問1

#### 《2018年の振り返り》

- 2018年、ご自身へのご褒美にお金を使った(使う予定がある)方は、男性が38.4%、女性が46.9%となり、女性の方が8.5ポイント高かった。
- ご自身のご褒美として何にお金を使ったか(使う予定か)では、男女ともに約4割の方が「旅行」と回答した。
- 2018年、最も活躍したと思う著名人の上位5名中4名が若手スポーツ選手となった。

#### ポイント②

質問2

#### 《2019年の抱負》

- 2019年の最大の抱負は、「仕事を頑張ること(12.5%)」「家族・友人との時間を増やすこと(12.5%)」等を上回り、「趣味の時間を増やすこと(16.3%)」が最も多かった。
- 2019年の最大の関心事は、全体で「消費税率10%への引上げ(42.6%)」が最も多く、次いで「元号の変更(38.7%)」が多かった。
- 消費税率が上がる前に購入したいものは、男女ともに「電化製品」が1位となった。

#### ポイント③

質問3

#### 《年末年始の予算・お年玉》

- 年末年始の予算は、全体で平均61,000円となり、昨年と比較して11,000円減少した。
- 2019年にお年玉をあげる方の割合は61.8%となり、昨年と比較してほぼ横ばいとなった。
- お年玉として適当な金額は、平均「6,400円」となり、昨年と比較して900円増加した。

- 質問 1-1 2018年、ご自身の1年に何点をつけますか？（100点満点）（回答者数：6,709名）
- 質問 1-2 【1-1を回答した方への質問】点数を決めるにあたって、最も大きな要素は何ですか？  
（回答者数：6,709名）
- 質問 1-3 2018年、ご自身へのご褒美のためにお金を使いましたか？（お金を使う予定はありますか？）  
（回答者数：6,709名）
- 質問 1-4 【1-3を「はい」と回答した方への質問】何にお金を使いましたか？（使う予定ですか？）  
※複数回答（回答者数：2,843名）
- 質問 1-5 2018年、最も活躍したと思う著名人は誰ですか？（回答者数：6,709名）

- 2018年の自己評価点数の平均は68.9点となり、昨年と比較してほぼ横ばいとなった。
- 点数を決めるにあたって最も大きな要素は男女共に「仕事を頑張れたこと」となった。
- 2018年、ご自身へのご褒美にお金を使った（使う予定がある）方は、男性が38.4%、女性が46.9%となり、女性の方が8.5ポイント高かった。
- ご自身へのご褒美として何にお金を使ったか（使う予定か）では、男女ともに約4割の方が「旅行」と回答した。
- 2018年、最も活躍したと思う著名人の1位は「大坂なおみ（23.7%）」さんとなり、上位5名中4名が若手スポーツ選手となった。

### ■2018年の点数

	平均	
		対前年
男性	68.3	+0.9
女性	69.6	+0.7
全体	68.9	+0.8

昨年と比較して  
ほぼ横ばい

### ■2018年の点数を決めるにあたって最も大きな要素

順位	内容	（%）		
		全体	男性	女性
1位	仕事を頑張れたこと	22.0	24.9	18.7
2位	家族・友人との時間を増やせたこと	13.4	10.1	17.1
3位	趣味の時間を増やせたこと	13.0	13.5	12.5
4位	働き方を改善できたこと	5.0	5.0	4.9
5位	食生活を見直せたこと	4.3	3.8	4.9

### ■2018年に、ご自身へのご褒美のためにお金を使ったか（お金を使う予定はあるか）

	（%）	
	はい	いいえ
男性	38.4	61.6
女性	46.9	53.1
全体	42.4	57.6

女性の方が、男性よりも  
8.5ポイント高い

■【ご自身へのご褒美のためにお金を使った（お金を使う予定がある）と回答した方への質問】  
何にお金を使ったか（使う予定があるか） ※複数回答

順位	内容	男性 (%)
1位	趣味	36.5
2位	旅行	36.2
3位	自動車・バイク等	11.3
4位	衣料品	10.3
5位	電化製品	8.9

順位	内容	女性 (%)
1位	旅行	43.5
2位	衣料品	21.6
3位	趣味	21.5
4位	アクセサリ・貴金属	11.6
5位	エステ・美容グッズ	10.5

■2018年、最も活躍したと思う著名人

上位5名中4名が  
若手スポーツ選手

順位	著名人	全体 (%)	~20代 (%)	30代 (%)	40代 (%)	50代 (%)	60代 (%)	70代~ (%)
1位	大坂なおみ	23.7	15.1	18.7	24.7	30.4	22.0	18.3
2位	安室奈美恵	19.5	27.1	32.3	22.1	13.8	14.2	7.4
3位	大谷翔平	15.4	13.5	11.2	12.3	15.9	20.9	23.5
4位	羽生結弦	9.2	7.1	7.6	6.3	9.5	11.9	18.5
5位	池江璃花子	5.4	2.2	2.2	4.4	6.6	9.2	6.1
6位	DA PUMP	4.3	7.8	7.3	5.3	2.9	2.0	0.9
7位	安藤サクラ	2.8	1.0	2.4	3.2	2.8	3.4	3.1
7位	田中圭	2.8	3.7	3.4	3.7	2.6	1.3	1.3
9位	くっきー（野性爆弾）	2.1	5.5	3.2	2.4	1.5	0.6	0.4
10位	ひよこりはん	1.5	1.8	1.6	2.5	1.2	0.9	0.2

<ニッセイ基礎研究所 矢嶋康次 チーフエコノミストのコメント>



自分へのご褒美のためにお金を使った（お金を使う予定がある）と答えた割合は、女性の方が男性よりも8.5ポイント上回っています。2018年は女性の就業者の割合が過去最高に達する等、女性の社会進出が進んだことがご褒美消費を後押ししていると考えられます。お金の使い道では、旅行、趣味が上位に来ています。車やブランド品等の「モノ」から体験の「コト」への消費スタイルの変化が鮮明に出ている結果と言えるでしょう。

一方で2018年の点数を決めるにあたって、仕事を頑張れたことが最も大きな要素と答えた割合は、女性の方が男性よりも6.2ポイント下回っています。今後、女性が更に活躍し満足感を得られるような環境が整っていくことが期待されます。

- 質問 2-1 2019 年はあなたにとって良い 1 年になりそうですか？ (回答者数：6,709 名)  
 質問 2-2 2019 年の最大の抱負は何ですか？ (回答者数：6,563 名)  
 質問 2-3 2019 年の最大の関心事は何ですか？ (回答者数：6,479 名)  
 質問 2-4 消費税率が 10% に上がる前に、購入したいものはありますか？ (回答者数：6,709 名)  
 質問 2-5 【2-4 を「はい」と回答した方への質問】何を購入したいですか？

※複数回答 (回答者数：2,493 名)

- 2019 年がご自身にとって「良い 1 年になる」と回答した方は 52.4% と過半数を占めた。  
 ○2019 年の最大の抱負は、「仕事を頑張ること(12.5%)」「家族・友人との時間を増やすこと(12.5%)」等を上回り、「趣味の時間を増やすこと(16.3%)」が最も多かった。  
 ○2019 年の最大の関心事は、全体で「消費税率 10% への引上げ(42.6%)」が最も多く、次いで「元号の変更(38.7%)」が多かった。  
 ○消費税率が上がる前に購入したいものが「ある」と回答した方は、37.2% となった。  
 ○消費税率が上がる前に購入したいものは、男女ともに「電化製品」が 1 位となった。

### ■2019 年のご自身にとって良い 1 年になりそうか

(%)

	なる	どちらでもない	ならない
男性	50.1	44.5	5.4
女性	55.1	41.0	3.9
全体	52.4	42.9	4.7

過半数が「なる」と回答

### ■2019 年の抱負

(%)

順位	内容	全体
1位	趣味の時間を増やすこと	16.3
2位	仕事を頑張ること	12.5
2位	家族・友人との時間を増やすこと	12.5
4位	貯蓄すること	9.7
5位	ダイエットに成功すること	9.3

「仕事を頑張ること」「家族・友人との時間を増やすこと」を上回り、「趣味の時間を増やすこと」が最も多かった

### ■2019 年の最大の関心事

(%)

順位	内容	全体	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
1位	消費税率10%への引上げ	42.6	36.9	46.6	42.9	41.8	43.9	37.9
2位	元号の変更	38.7	43.3	38.9	38.6	38.1	36.4	41.4
3位	東京2020大会まであと1年	6.4	7.3	6.3	6.1	6.7	5.4	7.8
4位	ラグビーワールドカップ日本大会	4.1	4.3	2.9	4.3	5.2	3.9	2.6
5位	選挙年齢の引下げ	1.5	1.1	0.7	1.0	1.3	2.6	4.2

### ■消費税率が10%に上がる前に、購入したいものがあるか

(%)

	全体	男性	女性
はい	37.2	33.5	41.4
いいえ	62.8	66.5	58.6

約 4 割が「はい」と回答

■【購入したいものがあると回答した方への質問】何を購入したいか ※複数回答

(%)

順位	内容	男性
1位	電化製品	27.7
2位	自動車・バイク等	26.4
3位	旅行	19.5
4位	趣味	15.4
5位	家・マンション	10.1

(%)

順位	内容	女性
1位	電化製品	30.7
2位	旅行	23.0
3位	食品・生活用品	14.1
4位	自動車・バイク等	13.5
5位	衣料品	11.5

<ニッセイ基礎研究所 矢嶋康次 チーフエコノミストのコメント>

2019年は良い年になりそうと答えた割合は過半数を超え、個々人の先行きへの期待は高いようです。2018年は仕事を頑張れた方が多かったのですが、働き方改革が進んでいる中、来年は仕事以外の趣味、家族・友人と過ごす時間も充実させることができるかが、満足度向上のポイントになりそうです。

2019年の最大の関心事では、家計の支出に直接関係の深い消費税率引上げの回答が一番多い結果となっています。特に、子育て世代で世帯支出が大きい30代、40代は比較的関心が高いようです。来年の消費税率引上げの際には、軽減税率を初めて導入することや、キャッシュレス決済した場合のポイント還元、自動車購入時の減税、住宅ローン減税の拡充等が検討されています。税率引上げ前後でどのように制度が変化するかを事前に理解しておくことが重要です。

質問3-1 年末年始を過ごすにあたっての予算はいくらくらいですか？ (回答者数：5,174名)

質問3-2 2019年はお年玉をあげる予定ですか？ (ご自身のお子さまや親族等) (回答者数：6,709名)

質問3-3 【3-2を「はい」と回答した方への質問】お年玉はいくらが適当だと思いますか？

(回答者数：4,144名)

- 年末年始の予算は、全体で平均61,000円となり、昨年と比較して11,000円減少した。
- 2019年にお年玉をあげる方の割合は61.8%となり、昨年と比較してほぼ横ばいとなった。
- お年玉として適当な金額は、平均6,400円となり、昨年と比較して900円増加した。

■年末年始の予算はいくらか

(円)

	平均	
		対前年
～20代	50,000	▲8,000
30代	52,000	▲16,000
40代	57,000	▲9,000
50代	65,000	▲8,000
60代	67,000	▲14,000
70代～	62,000	▲30,000
全体	61,000	▲11,000

昨年と比較して  
11,000円の減少

■2019年はお年玉をあげるか

(%)

	全体	
		対前年
はい	61.8	+0.6

昨年と比較して  
ほぼ横ばい

■【お年玉をあげると回答した方に質問】お年玉はいくらが適当か

		(円)	
		平均	
		対前年	
全体	6,400	+900	<b>昨年と比較して 900 円の増加</b>

<参考>内訳

		(円)	
		平均	
		対前年	
小学生	3,700	▲600	
中学生	6,100	+1,100	
高校生	9,300	+2,000	

<ニッセイ基礎研究所 矢嶋康次 チーフエコノミストのコメント>

経団連が発表した大手企業のボーナス調査では、2018 年の夏冬ともに過去最高額を更新しました。景気回復が長期化し、好調な企業収益を背景に雇用・所得環境が改善しています。しかし、お年玉をあげる金額は昨年と比べ増加している一方で、年末年始の予算額は減少しています。消費増税が控えている中で節約志向が一部で表れているのかもしれませんが。